

2023年度版

H E S

環境マネジメントシステム

環 境 報 告 書

株式会社 イーアンドエム

## 低公害形建設機械の導入割合

選別施設用タイヤショベル	H, 25, 12	H, 20規制適合車
運搬用2.5t回転フォークリフト	H, 25, 12	//
圧縮機用3.5tクランプリフト	H, 26, 3	H, 26規制適合車
ホッパー投入用バケットリフト	H, 27, 11	//
運搬用3.0t回転フォークリフト	H, 29, 9	//
運搬用2.5t回転フォークリフト	H, 30, 12	//
古紙用3.5tクランプリフト	R, 5, 9	//
古紙用2.5tヒンジドバケットリフト	R, 5, 10	//

リフト総台数14台 H, 20年以降の規制適合車50%

タイヤショベル1台 H, 20年規制適合車割合100%

規制適合車両導入割合は、100%

排出ガス対策・・・・・・空吹かし・急発進・急停止の禁止

アイドリングストップの励行（夏期5分 冬樹15分）

未使用時のエンジン停止の励行

低騒音・低振動対策・・・・工業専用地域のため、騒音・振動の規制はないが、走行速度厳守（構内・工場内）

作業内容に応じた効率の良い作業を実施

# 環境に関する基本方針

## 〈 基本理念 〉

株式会社イーアンドエムは、事業運営と地球環境の保全を両立し、住み良い北海道の地域社会を実現するために、全組織を挙げて環境改善活動に取り組みます。

## 〈 方 針 〉

株式会社イーアンドエムは、ビン・缶・ペットボトル・古紙の回収、加工、販売及び産業廃棄物の収集、運搬、処分並びにそれに関するサービスの提供により発生する環境影響を低減するために、次の方針に基づき、環境改善活動を推進します。

1. 当社の活動、製品及びサービスが関わる環境への影響を常に認識し、全事業所において環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防にも努めます。
2. 環境に関連する法的及び当社が同意するその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスが関わる環境影響要因のうち、以下の項目を環境改善活動の重点テーマとして取り組みます。

- (1)回収数量と自動車軽油燃料の消費効率向上
- (2)構内外の美化促進
- (3)回収数量処分と電気の使用量効率向上
- (4)産業廃棄物処分業取得によるリサイクル率の向上（要データ収集）
- (5)スーパーソル(廃ガラスからのリサイクル材)製造に伴うA重油の使用量
- (6)ガソリン・灯油・水道の使用量

※事務用紙使用削減については、維持管理とする。

4. この環境に関する基本方針は、全従業員が理解し、行動出来るよう周知徹底するとともに社外にも公表します。

この環境に関する基本方針を達成するために、環境目的・目標を設定し、当社の全従業員をあげて環境改善活動を展開するとともに、定期的に見直しを実施します。

2007年 3月29日 制定  
2014年12月30日 改定  
2016年12月30日 改定  
2017年11月 1日 改定  
2020年12月28日 改定  
2021年 9月14日 改定  
2021年12月27日 改定

2022年12月26日 改定  
2023年12月26日 改定

株式会社 イーアンドエム  
代表取締役 橋本 晃一

承認	作成
2023年12月28日	2023年12月26日

## 環境目標一覧表

項目	2020年度	年度目標			環境目標
		2021年度	2022年度	2023年度	
自動車軽油使用量と回収量との消費率削減 ℓ/m <sup>3</sup>  【責任者】 追出町	実績値 0.93ℓ/m <sup>3</sup>	データー収集  0.92ℓ/m <sup>3</sup>	2021年度から 1%削減  0.91ℓ/m <sup>3</sup>	2022年度数値 維持  0.91ℓ/m <sup>3</sup>	2023年度までに 1%削減する
	2021年度もデーター収集	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止 効率の良い回収作業・走行	
事務紙使用削減  【責任者】 鈴木	実績値 63,331枚/年	基準年度から 2%削減  61,817枚/年	/	/	事務紙削減は 2022年度から 環境目標から 維持管理とする
		裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	裏面使用の促進 ペーパーレス化の推進	
電気使用量と処理量との消費率削減 kw/m <sup>3</sup>  【責任者】 澤田	実績値 3.59kw/m <sup>3</sup>	データー収集  4.33kw/m <sup>3</sup>	2021年度から 6%増  4.61kw/m <sup>3</sup>	データー収集  kw/m <sup>3</sup>	2023年度まで 本社・第五工場 データー収集
	2021年度もデーター収集	使用しない電気の消灯	使用しない電気の消灯	使用しない電気の消灯	
スーパーソル製造量とA重油使用量  【責任者】 澤田	2020年実績値なし 2019年実績値を 基準とする 23.62ℓ/m <sup>3</sup>	データー収集  25.1ℓ/m <sup>3</sup>	2021年度から 14.7%削減  21.4ℓ/m <sup>3</sup>	2021年度から 2%削減  24.6ℓ/m <sup>3</sup>	2023年度までに 2%削減する (2021年度)
	2021年度もデーター収集	効率化・ロスを無くし使用量減	効率化・ロスを無くし使用量減	効率化・ロスを無くし使用量減	
構内外の美化促進  【責任者】 南	月4回の構内外の清掃	月4回の構内外の清掃	月4回の構内外の清掃	月4回の構内外の清掃	定期的な清掃作業だけではなく 常時美化に心掛け ゴミ拾い等実践する
	定期的な清掃 ゴミ拾い	定期的な清掃 ゴミ拾い	定期的な清掃 ゴミ拾い	定期的な清掃 ゴミ拾い	

## 環境目標一覧表

項目	2020年度	年度目標			環境目標
		2021年度	2022年度	2023年度	
産業廃棄物の中間処理排出量のリサイクル率の算出  リサイクルkg/排出量kg  【責任者】 澤田	排出量2,013,449kg R量1,302,259kg 実績値 64.70%	データー収集  78.50%	2021年度から 2.5%向上  80.50%	2022年度から 1%向上  81.30%	固形燃料・火力発電所燃料と合わせ、セメント原料としてのリサイクル率向上を図る
2021年度もデーター収集  選別作業の効率化 処分量の削減	選別作業の効率化 処分量の削減	選別作業の効率化 処分量の削減	選別作業の効率化 処分量の削減		
自動車ガソリン燃料の消費効率向上  【責任者】 川崎	データー収集年  9165.330	増員につきもう1年間データー収集  9516.770	増員につきもう1年間データー収集  10287.180	増員につきもう1年間データー収集  0	2023年度までデーター収集
アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止	アイドリングストップ 急発進・急停止の禁止		
灯油の使用量  【責任者】 澤田	データー収集年 2019年9046.70 2020年8278.90 2年間平均8662.80	基準年度から 6%増  9,1890	暖房器具増につきデーター収集  9,9540	2022年度から 1%削減  9,854.50	2023年度までに1%削減する
使用しないストップ等の消火	使用しないストップ等の消火	使用しないストップ等の消火	使用しないストップ等の消火		
水道の使用量  【責任者】 澤田	データー収集年  5,3590	水交換回数増によりデーター収集  5,3730	水交換回数増によりもう1年間データー収集  5,9460	水交換回数増によりもう1年間データー収集  0	2023年度までデーター収集
【責任者】					

# 環境目標計画書兼進捗管理表

2022年度（2022年12月～2023年11月）

承認	作成
2023年12月27日	2023年12月26日

NO	目標項目	施策(日程)項目	CO2排出量=482, 359.4(kg-co2)												実施責任者								
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月									
1	燃費効率	ハイブリッドエンジンの走行(夏期暖機5分 冬期15分) 急発進・急停車の禁止 効率の良い走行コース及び収集体制の確率	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92	0.92
基準年度から19%削減			達成率												100%以上								
0.920/m <sup>3</sup>			適合性評価												○								
NO 目標項目			適合性評価												○								
NO 目標内容			CO2排出量=360, 488.1(kg-co2)												実施責任者								
2 コピー紙削減			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	鈴木								
裏面使用の促進			5,486	5,107	4,975	5,152	5,010	5,149	5,155	5,063	5,120	5,154	5,075	5,371									
月別実績値			4,590	5,115	5,226	5,202	5,166	4,991	5,050	5,017	5,111	5,080	4,954	5,111									
累計実績値			5,486	10,593	15,568	20,720	25,730	30,879	36,034	41,097	46,217	51,371	56,446	61,817									
達成率			4,590	9,705	14,931	20,133	25,299	30,290	35,340	40,357	45,437	50,517	55,471	60,582									
			119.5	109.1	104.3	102.9	101.7	101.9	102.0	101.8	101.7	101.7	101.8	102.0									
NO 目標項目			適合性評価												○								
NO 目標内容			CO2排出量=360, 488.1(kg-co2)												実施責任者								
3 電気使用量			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	澤田								
使用しない電気の消灯			4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33									
月別処理量			17,358	14,378	14,649	17,217	15,801	17,061	17,016	18,644	20,038	18,508	17,056	16,764									
月別電気使用量			79,272	74,288	72,988	83,030	68,509	83,759	82,997	82,270	93,586	93,530	65,136	64,821									
使用量/処理量			4.57	5.17	4.98	4.82	4.34	4.91	4.88	4.41	4.67	5.05	3.82	3.84									
達成率			94.8	83.8	87.0	89.8	99.8	88.2	88.7	98.2	92.7	85.7	113.4	112.8	達成率 100%以上								
			適合性評価												○								
環境管理責任者の確認及び改善対策内容等			機械増設により電気使用量が増となる。												古紙ペーパー・数票粉砕機、第五工場に移設。電気使用量減。								

※改善対策は、2月、5月、8月、11月の適合評価で、累計実績値が不適合だった場合に実施。

# 環境目標計画書兼進捗管理表

2022年度 ( 2022年12月 ~ 2023年11月 )

2023年12月27日	2023年12月26日
-------------	-------------

NO	目標項目	施策(日程)項目	CO2排出量=473, 449.5(kg-co2)												実施責任者	
			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
4	製造量・A重油 スーパースル(廃ガラ 又からのリサイクル材) 製造に伴うA重油の使 用量の把握	効率化・ロスを無くし使 用量削減	月別	250	186	210	542	660	1184	1228	1177	1318	1077	217	118	澤田
			別	5418.3	4864.4	4534.7	12387.3	14521.1	25947.2	25761.1	25470.1	26907.2	22247.8	3573.7	3071.7	
			果		436	646	1188	1848	3032	4260	5437	6755	7832	8049	8167	
			計		10282.7	14817.4	27204.7	41725.8	67673	93434.1	118904.2	145811.4	168059.2	171632.9	174705	
		使用量/製造量	21.7	23.6	22.9	22.9	22.6	22.3	21.9	21.9	21.6	21.5	21.3	21.4	100%以上	
		適合性評価	○													
			CO2排出量=23, 866.3(kg-co2)													
5	ガリリン	燃費向上の励行 急発進・急停止禁止	月別	917.41	878.21	776.97	857.06	612.83	782.46	749.86	750.41	855.97	799.84	747.10	788.65	澤田
			月別	1151.79	881.56	942.81	876.76	694.65	806.97	733.52	953.55	817.96	851.91	774.47	770.41	
			果	917.41	1795.62	2572.59	3429.65	4042.48	5574.8	6325.21	7181.18	7981.02	8728.12	9516.77	10287.2	
			計		1798.97	2741.78	3618.54	4313.19	5120.16	5853.68	6807.23	7625.19	8477.10	9251.57	10287.2	
		達成率	79.7	99.8	93.8	94.8	93.7	94.2	95.2	92.9	94.2	94.1	94.3	92.6	100%以上	
		適合性評価	X													
			CO2排出量=24, 785.5(kg-co2)													
6	灯油使用量	使用しない灯油ストー ブ(ジェットヒーター等) の消火	月別	1,418	2,723	2,434	1,984	501.1	128.5	0	0	0	0	0	0	澤田
			月別	1,819	2,348	2,955	1,472	475	37	0	0	0	0	0	0	
			果	1,418	4,141	6,575	8,559	9,060	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	9,189	
			計		4,167	7,122	8,594	9,069	9,106	9,106	9,106	9,106	9,106	9,106	9,954	
		達成率	78.0	99.4	92.3	99.6	99.9	100.9	100.9	100.9	100.9	100.9	100.9	92.3	100%以上	
		適合性評価	X													
			CO2排出量=24, 785.5(kg-co2)													
環境管理責任者の確認及び 改善対策内容等			機械故障等による工場 内作業増により、ジェット ヒーター稼働率増加。												12月前に工場3ヶ所の タンクへ給油したため。	

※改善対策は、2月、5月、8月、11月の適合評価で、累計実績値が不適合だった場合に実施。

# 環境目標計画書兼進捗管理表

2022年度 ( 2022年12月 ~ 2023年11月 )

2023年12月27日	2023年12月26日
-------------	-------------

NO	目標項目	施策(日程)項目	月別目標値	CO2排出量=1, 189. 2(kg-co2)												実施責任者
				12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
7	水道使用量	水槽等水交換回数 工夫により使用量削減	453	453	380.5	380.5	410	410	450.5	450.5	525.5	525.5	467.0	467.0	澤田	
基準年度から1%削減			386.5	386.5	440	440	482.5	482.5	515.5	515.5	601.5	601.5	548.0	548.0	達成率	
			453	453	1286.5	1667	2077	2487	2937.5	3388	3913.5	4439	4906	5373	達成率	
			386.5	386.5	1213	1653	2135.5	2618	3133.5	3649	4250.5	4850	5398	5946	100%以上	
			117.2	117.2	106.1	100.8	97.3	95.0	93.7	92.8	92.1	91.5	90.9	90.4		
適合性評価			○												X	
NO 目標項目			1,581,380kg ÷ 1,965,319kg = 80.5%												実施責任者	
目標内容			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	澤田	
8 リサイクル率			78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	78.49	達成率	
産業廃棄物の中間処理排出量のリサイクル率の算出			200,403	160,100	142,227	197,499	140,925	150,971	143,188	173,504	172,515	161,792	179,955	142,240	100%以上	
2021年度排出量			165,129	133,220	110,074	160,288	103,784	124,898	119,305	140,367	140,081	132,871	151,827	99,536		
リサイクル率			82.40	83.21	77.40	81.16	73.6	82.7	83.3	80.9	81.2	82.1	84.4	70.0		
基準年度から1%up			105.0	106.0	98.6	103.4	93.8	105.4	106.1	103.1	103.5	104.6	107.5	89.2		
適合性評価			○													
NO 目標項目			12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	実施責任者	
目標内容																
環境管理責任者の確認及び改善対策内容等			ペットボトル二次破砕機への水給水量を増やしたことで水道使用量増。 ペットボトル破砕後、比重分離水槽の水交換回数を週3回に増やしたことで、水道使用量増。 ペットボトル製品の品質向上には、水交換回数増は不可欠なため、次年度目標数値の参考とする。													

※改善対策は、2月、5月、8月、11月の適合評価で、累計実績値が不適合だった場合に実施。